



株式会社 LIFULL

(証券コード：2120)

会社説明会

2026年5月

免責事項

本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業に関わる情報は、公開されている情報などから引用しており、その情報の正確性などについて保証するものではありません。

登壇者のご紹介 (代表取締役社長 2023年12月就任)



いとう ゆうじ
伊東 祐司

代表取締役社長執行役員

2006年 当社入社 新卒として入社

2015年 当社執行役員 LIFULL史上最年少 (当時32歳)

2019年 LIFULL HOME'S事業本部長に就任

2020年 当社取締役執行役員

2023年 当社代表取締役社長執行役員 (現任)

LIFULL (2120) がお伝えしたい4つのこと

1. LIFULLについて

2. 中期経営計画（2026~2028）で目指すこと

（住領域×AIのリーディングカンパニーに向けて強固な土台づくり）

3. 2026年9月期第2四半期 決算ダイジェスト

4. 株主還元の強化（株主優待制度を新設）



1. LIFULLについて



2. 中期経営計画（2026～2028）で目指すこと

（住領域×AIのリーディングカンパニーに向けて強固な土台づくり）

3. 2026年9月期第2四半期 決算ダイジェスト

4. 株主還元の強化（株主優待制度を新設）

株式会社LIFULL 会社概要 (2026年3月31日現在)

証券コード 2120
(東京証券取引所 プライム市場)

本社 東京都千代田区麹町

代表者 代表取締役会長 井上 高志
代表取締役社長執行役員 伊東 祐司

資本金 9,736百万円

発行済株式数 134,586,032株
(内、自己株式数 6,245,451株)

連結従業員数 1,054名
(内、臨時雇用者数122名、海外子会社119名)

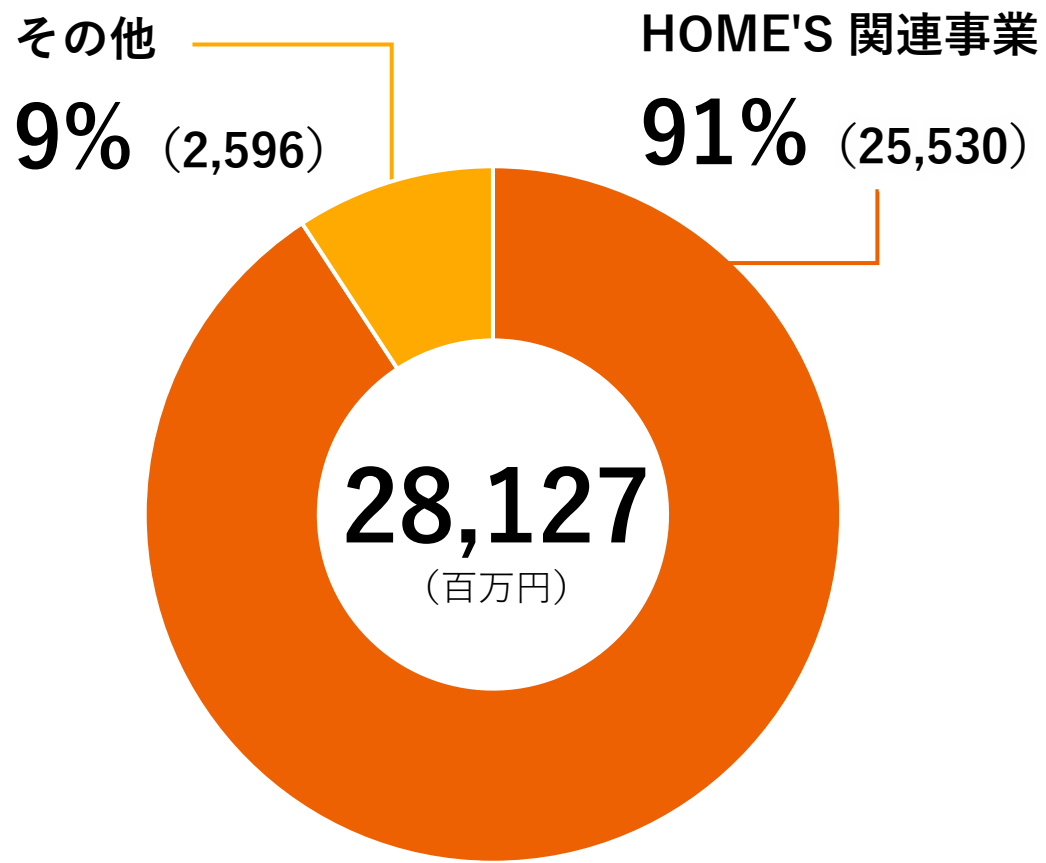
主な株主 LIFULL役員、
楽天グループ株式会社 (18.54%)

沿革 1997年3月12日 設立
2006年10月 東証マザーズ上場
2010年3月 東証一部へ市場変更
2022年4月 東証プライムへ移行



事業概要

■2025年9月期 売上収益 実績 (百万円)



HOME'S 関連事業



日本最大級の不動産・住宅の総合情報サービス



日本最大級の不動産投資と収益物件の情報サイト



オフィス開発拠点

主要事業

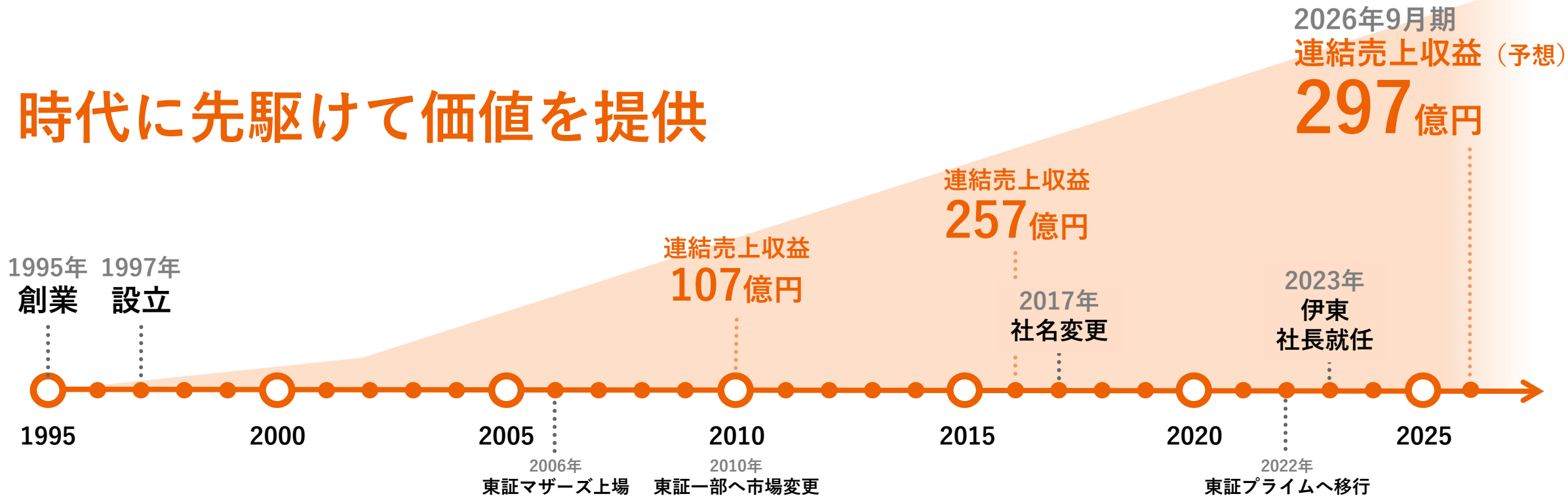
その他

その他

- 住まい領域周辺の様々な社会課題を解決する事業を展開
- ・日本最大級の介護施設情報サイト「**LIFULL介護**」
 - ・遊休不動産を再生して利活用する**地方創生事業** など

LIFULLの歴史（1995年創業から31年）

時代に先駆けて価値を提供



インターネットの広がり



スマートフォンの普及

リモートワークの普及
AI、生成AIの広がり



当社サービス



不動産・住宅情報サイト
「HOME'S」サービス開始
(現LIFULL HOME'S)



スマートフォン向け
アプリの提供開始



オンライン内見・IT重要事項
説明のサービス提供開始



生成AIを活用した
「AIホームズくん」提供開始

主力事業

LIFULL HOME'Sについて

1997年誕生（ライフルホームズ）



LIFULL HOME'S

検索

<https://www.homes.co.jp/>

住まいのことなら何でも！

賃貸

新築

土地

売却
査定

不動産
投資

掲載物件数

600 万件以上

※2026年3月現在

顧客数

（利用事業者）

3.3 万店舗以上

※2025年10月～2026年3月平均

PC

タブレット

スマホ
サイト

アプリ

アプリ
累計DL数

900 万件以上

※2025年11月現在

ユーザーと事業者のニーズに寄り添い続け、ゆるぎない信頼を獲得

借りる・買う・売る 幅広い領域で高評価



※1
2年連続 物件鮮度No.1
(2024年／2025年)

NEW ※2
賃貸領域
総合
No.1
2026・2022 2回連続

NEW ※4
新築分譲マンション
掲載物件数
No.1

※3
売買領域
総合
No.1

※5
新築一戸建て
掲載物件数
No.1

NEW ※6
売却査定
5年連続
訪問査定率
No.1
2025年 不動産情報サイト



※1 株式会社ブラグ [2025年6月19日～6月23日調査]
※2 Gomez 賃貸不動産情報スマホサイトランキング [2026年4月][2022年1月]
※3 Gomez 売買不動産情報スマホサイトランキング [2022年2月]
※4 株式会社ブラグ [2026年2月16日～2月20日調査] 新築分譲マンション(築1年以上未入居含む)
※5 株式会社ブラグ [2025年6月4日時点]
※6 不動産会社のミカタ一括査定サイト訪問査定率ランキング [2021年～2025年の5年連続]

社内開発力が強み

テクノロジーで
住まい探しをもっと便利に、安心に、楽しく

ユーザー向け



- ・ 鮮度の高い豊富な不動産情報
- ・ 比較しやすい便利な検索機能

不動産事業者向け



LINE会社問合せ



会社情報EX



会社情報PR

- ・ 効率的な集客支援
- ・ 業務の生産性を向上させる豊富なサービス群

最先端のAIを活用



ユーザー

AIホームズくん



不動産事業者

不動産事業者様との
DXパートナーシップ協定締結

TSUKURUBA

あしたを、つなぐ — 野村不動産グループ
野村不動産ソリューションズ

ハウスコム

LIFULL 社内

全社横断で活用を推進

96%以上が活用

半年で5万時間
業務時間を創出

(株式会社LIFULL単体、2025年4~9月)

2026年5月15日までのAI関連のプレスリリース 26本

1. LIFULLについて

2. **中期経営計画（2026~2028）で目指すこと**



（住領域×AIのリーディングカンパニーに向けて強固な土台づくり）

3. 2026年9月期第2四半期 決算ダイジェスト

4. 株主還元の強化（株主優待制度を新設）

中期経営計画（2026年9月期～2028年9月期）のテーマ・ポイント

中長期に目指す姿

グループシナジーを最大化し、
住領域×AIでNo.1に

中期経営計画の重点ポイント

① 主要事業
（LIFULL HOME'S）の成長

+

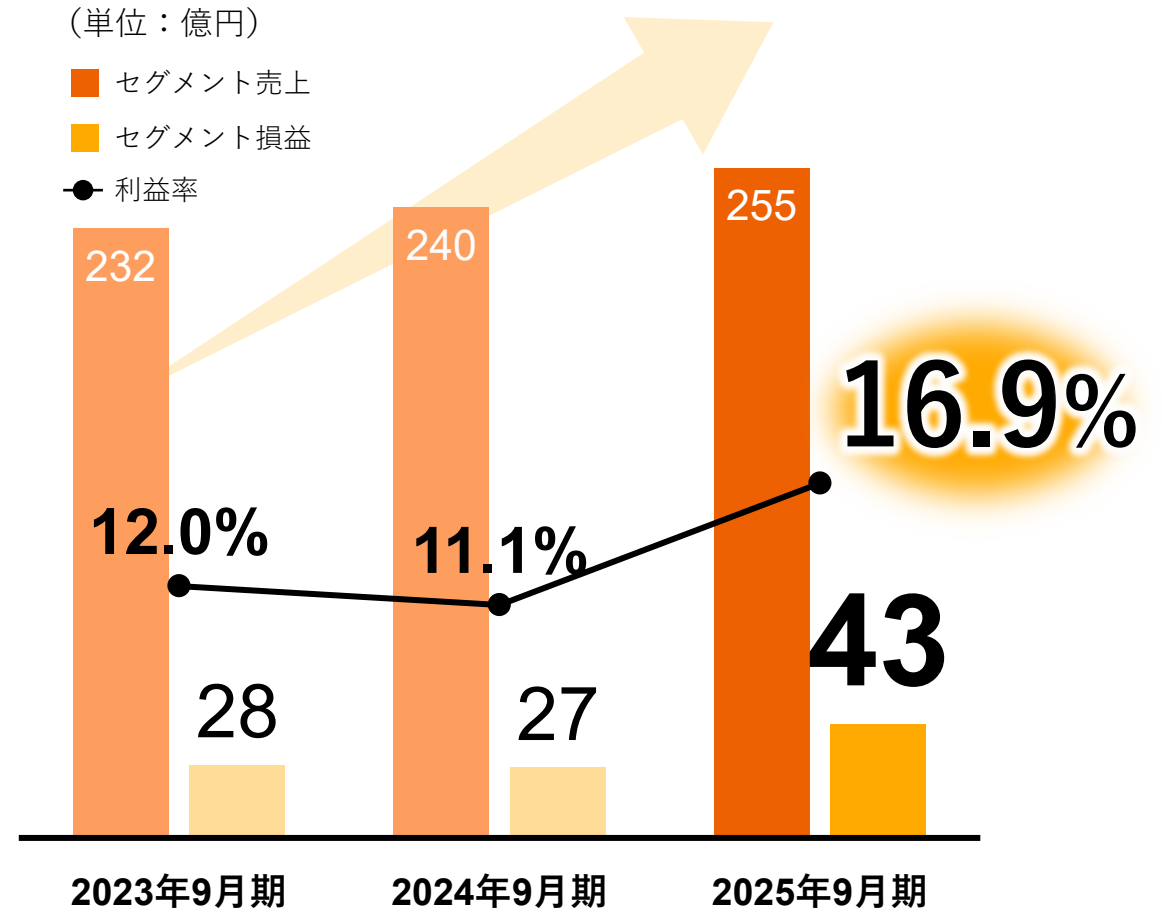
② グループシナジー最大化
（周辺事業の成長）

+

③ AI活用・最適化による
非連続成長

中期経営計画 ①主要事業（LIFULL HOME'S）の成長

継続してきたサイト開発・営業施策の強化が好循環で業績を拡大

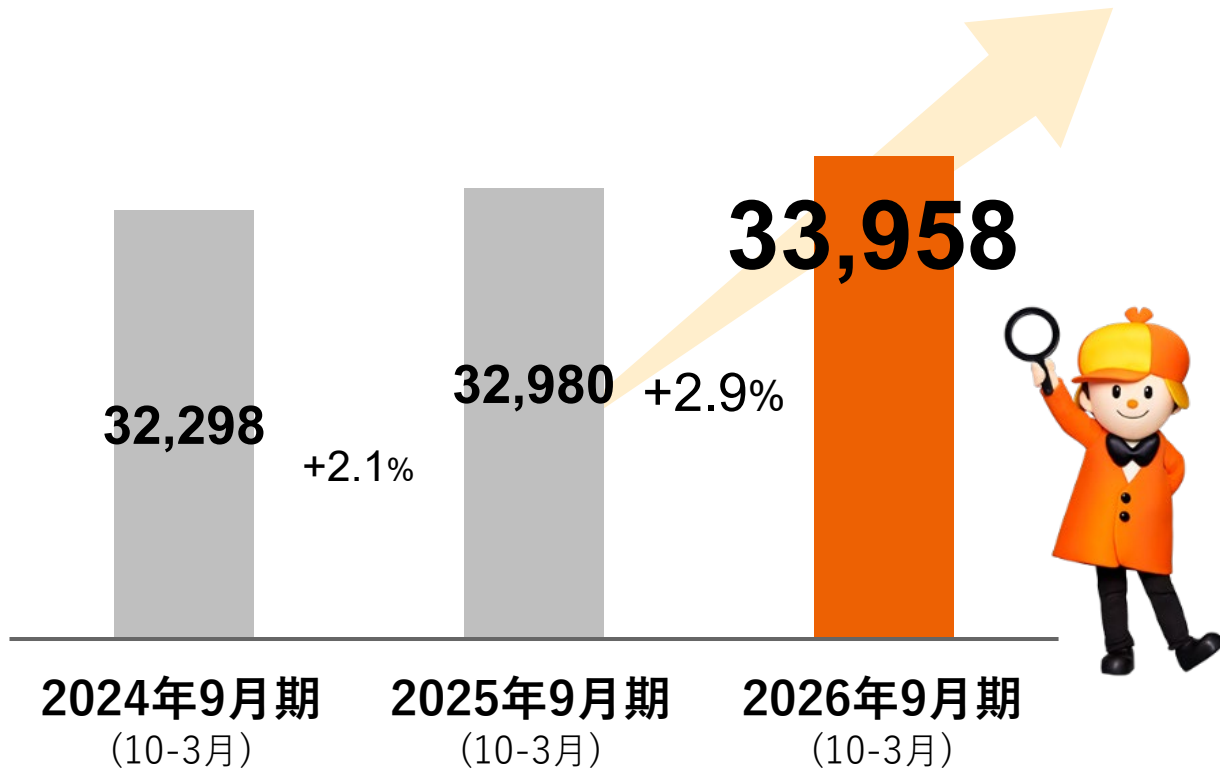


中期経営計画 ①主要事業（LIFULL HOME'S）の成長

HOME'S関連の重要指標：顧客数、ARPA（顧客単価）も拡大を継続

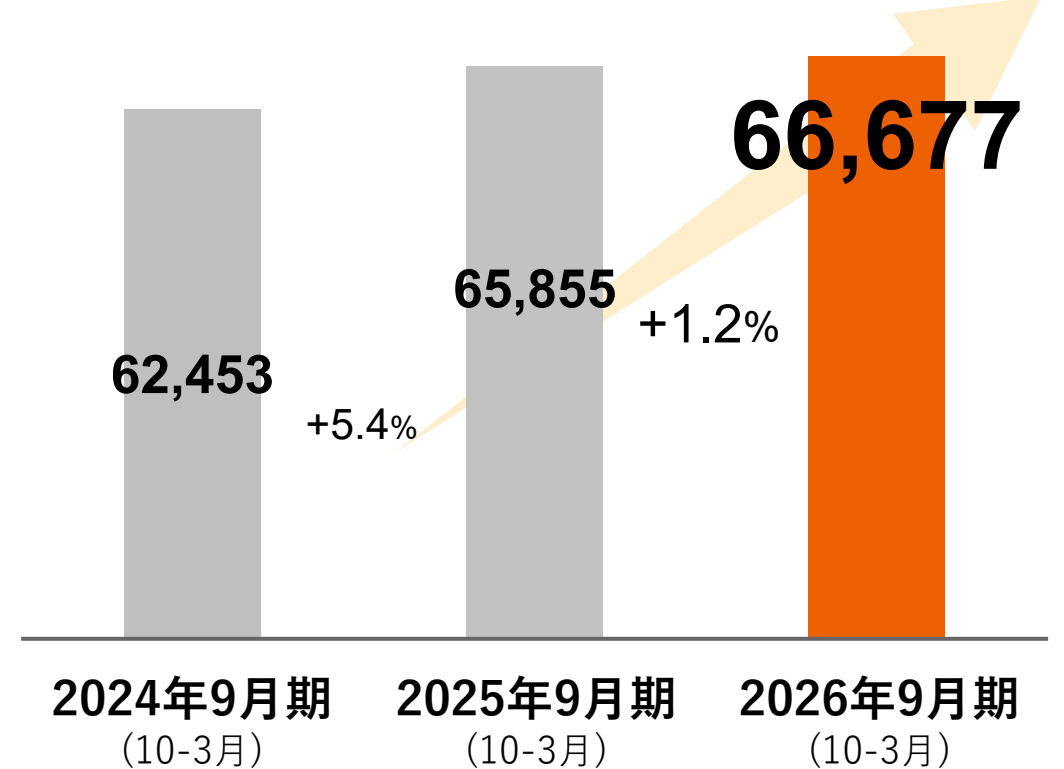
顧客数

※6ヵ月間の平均値



ARPA（円）

※6ヵ月間の平均値



中期経営計画 ②グループシナジー最大化

LIFULLの強みを活かし、国内の住領域の事業を拡大

最重要

実需の
住まい探し

LIFULL
HOME'S

注力

投資用
不動産領域

健美家
by LIFULL

高齢者向け
介護施設領域

LIFULL
介護

高齢者領域

LIFULL
senior

不動産投資領域

健美家

住まい領域

LIFULL
HOME'S

不動産の
新たな活用

遊休不動産領域

(空き家利活用等)

中期経営計画 ②グループシナジー最大化

実需 × 投資

不動産領域で
最大の情報提供を目指す



不動産
データベースの拡充



不動産事業者の
ネットワークの拡大



ユーザー
満足度の向上

住まい（実需）

LIFULL
HOME'S



- 掲載物件数 600万件以上
- 豊富な領域の事業者ネットワーク
- 膨大なユーザートラフィック

収益物件（投資）

健美家.
by LIFULL



- 掲載物件数 9万件以上
- 収益物件を主に扱う事業者
- アクティブな不動産投資家
コミュニティ

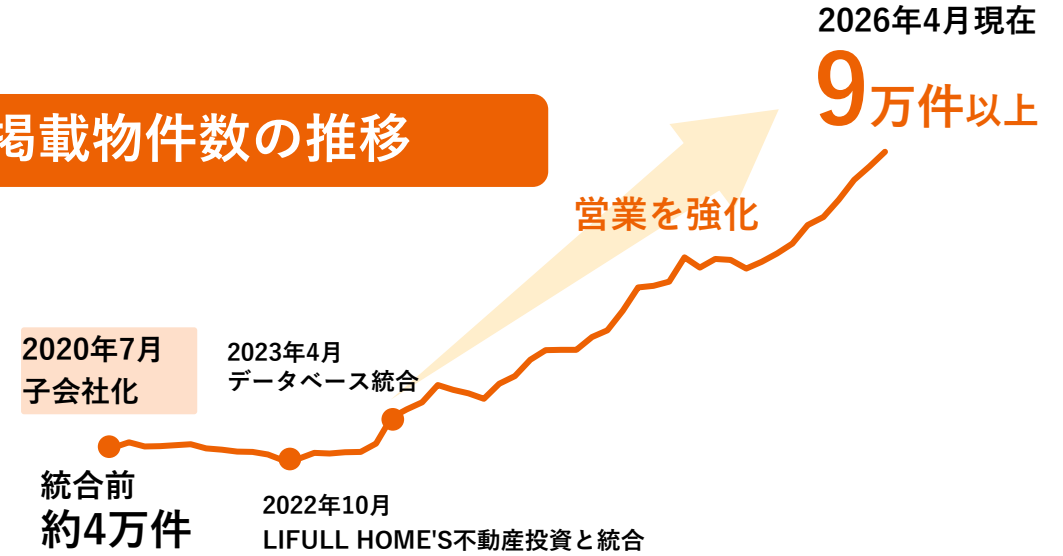
中期経営計画 ②グループシナジー最大化

投資物件掲載数 **No.1** ※

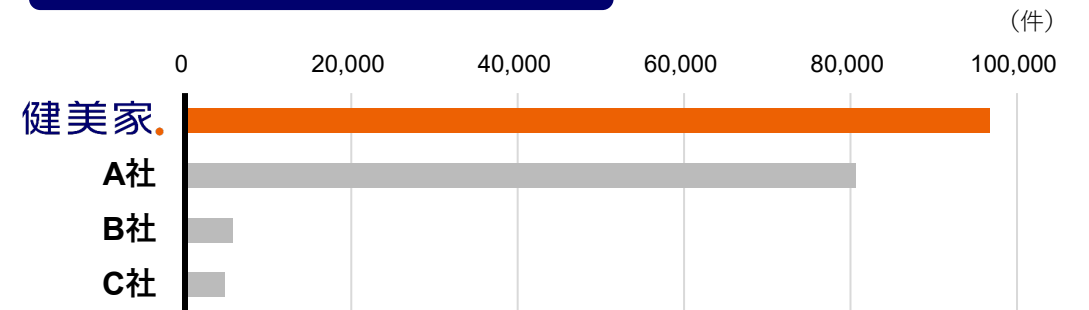


不動産投資と
収益物件の情報サイト
健康家。

掲載物件数の推移



参考) 掲載物件数の他社比較



サービスを拡大しながら
各事業のデータを拡充

住まい
住替え  

他ポータルや不動産テック企業と
差別化要因となる住まい領域拡張データ

投資用
不動産  

高齢者施設  

遊休不動産
資産活用  

LIFULLグループのデータ + AIを活用して “住領域 × AI No.1”に



AIに最適化



- AIに適したデータ配置より便利なサービス (事業者、ユーザー)
- 業務の大幅な効率化 (事業者、社内)

新サービスのご紹介

「LIFULL AI」をリリース（2025年12月）

LIFULLの強みである住まい関連データ×AI技術を活かし、新しい住まい探し体験を提供

LIFULLグループが目指すソリューション構想

LIFULLの強み

LIFULLグループで
30年間蓄積した
住まい領域データ

LIFULL
HOME'S

健美家.
by LIFULL

LIFULL senior

LIFULL Investment
LIFULL Social Asset

新サービス



次世代の住まい探し

LIFULL AI

LIFULLのあらゆるデータにアクセスできる
AIエージェント

CONCEPT MOVIE

次世代の住まい探しを体験



<https://youtu.be/D6UiaSdt6t4>



LIFULL ✨ AI

LIFULLのあらゆるデータにアクセスできるAIエージェント

LIFULL ✨ AI



こんにちは。
お手伝いできることは
ありますか？

ホームズくんに質問する



一人暮らし

子供が生まれた

家を売りたい

ハザードマップ

LIFULL AI 「AIホームズくん」を提供開始

対話型でよりぴったりの住まいを提案。ユーザーの好みを学習し自動検索・提案

AIホームズくん

🗨️ 試してみてね!



<https://ai.lifull.com/aihomeskun/>

- 24時間相談可能
- 相談することで好みを学習、よりあなたにぴったりの提案

検索から相談へ体験を一新



2人で住むなら、A駅とB駅まで30分以内、駅近な物件ってどこかな？



初めての住み替えなんだけど、まずは何から準備すればいいのか教えて！



今の賃貸に住み続けるのとマイホームを購入するのがどちらがいいかな。



登山グッズをたっぷり収納できて、名山にも行きやすい家に引越したいな。

2028年9月期には過去最高の営業利益を更新へ

グループのリソースを最大活用し、**住領域×AIでNo.1**に

前中計期間の実績
(2021年9月期～2025年9月期)

選択と集中

事業ストラクチャの
大幅な改革

- ・ 海外事業から撤退
- ・ 周辺事業の売却

国内 主要事業へ回帰

本中計 (2026年9月期～2028年9月期)

定量目標 (2028年9月期)

売上収益 (連結)
350~400億円

営業利益 (連結)
55~60億円
営業利益率：15%超

1. LIFULLについて

2. 中期経営計画（2026~2028）で目指すこと

（住領域×AIのリーディングカンパニーに向けて強固な土台づくり）

3. **2026年9月期第2四半期 決算ダイジェスト**



4. 株主還元の強化（株主優待制度を新設）

2026年9月期 第2四半期 決算のポイント

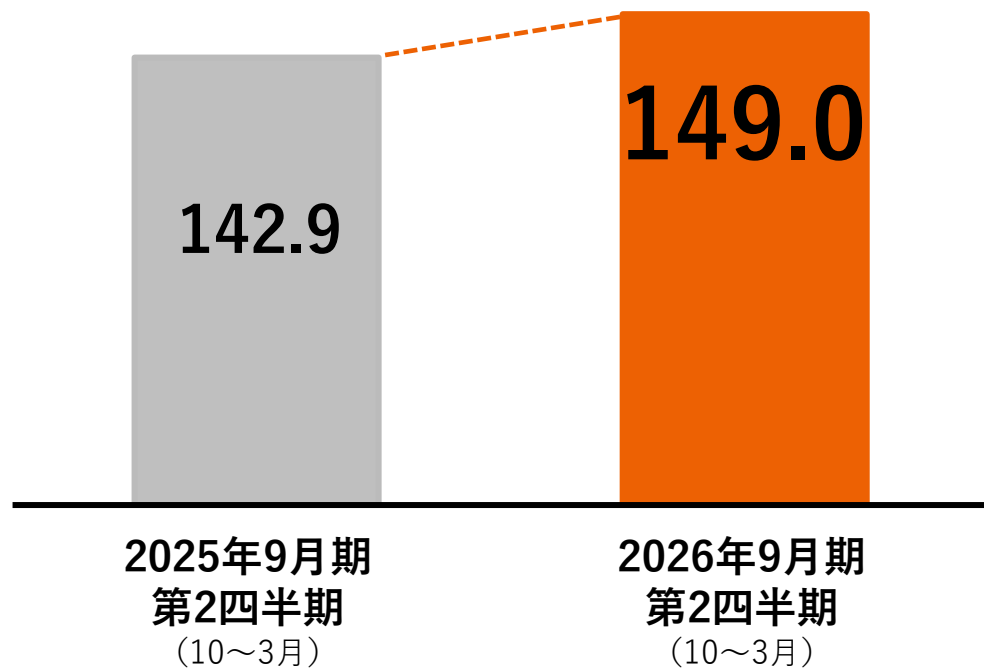
HOME'S関連の好調がけん引し、増収増益

売上収益

149億円

前期比 +4.3%

(単位：億円)

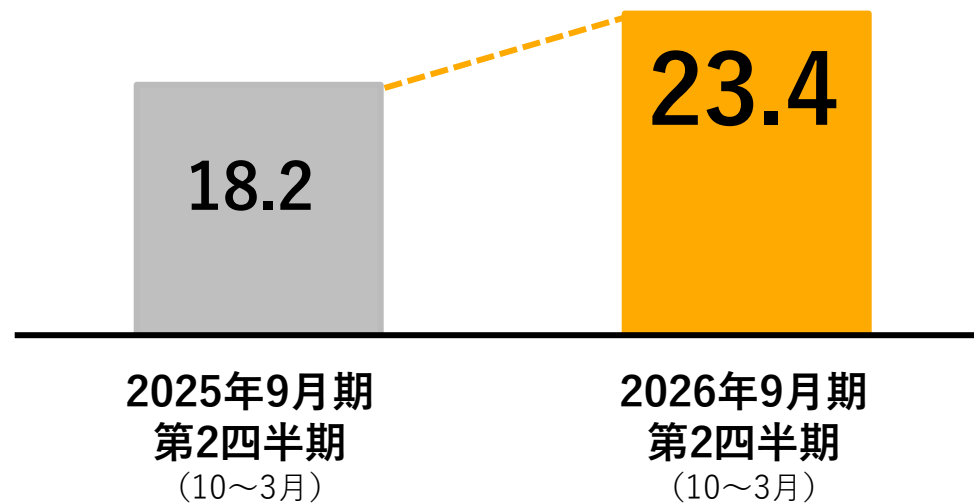


営業利益

23.4億円

前期比 +28.5%

(単位：億円)



2026年9月期 第2四半期 決算 - 当期利益 -

前年第2四半期に海外事業リストラクチャリングの一時的な要因あり
継続事業（HOME'S等）で比較した場合、前期の**約2倍**

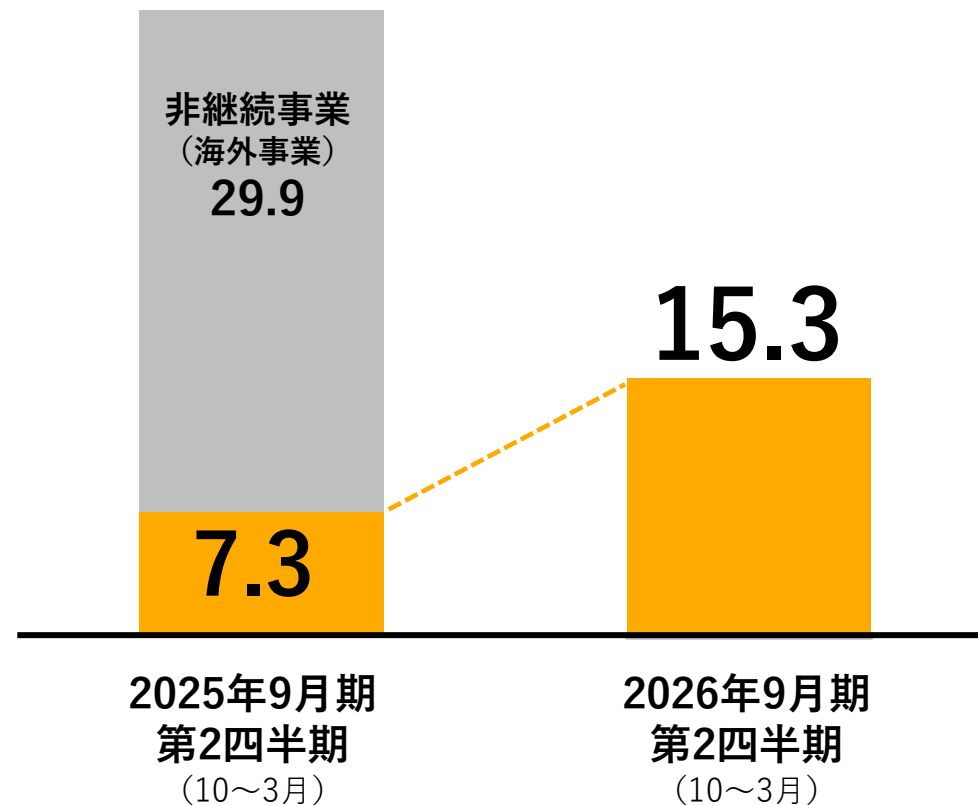
当期利益

15.3億円

継続事業で比較した場合

前期比 **+108.7%**

(単位：億円)

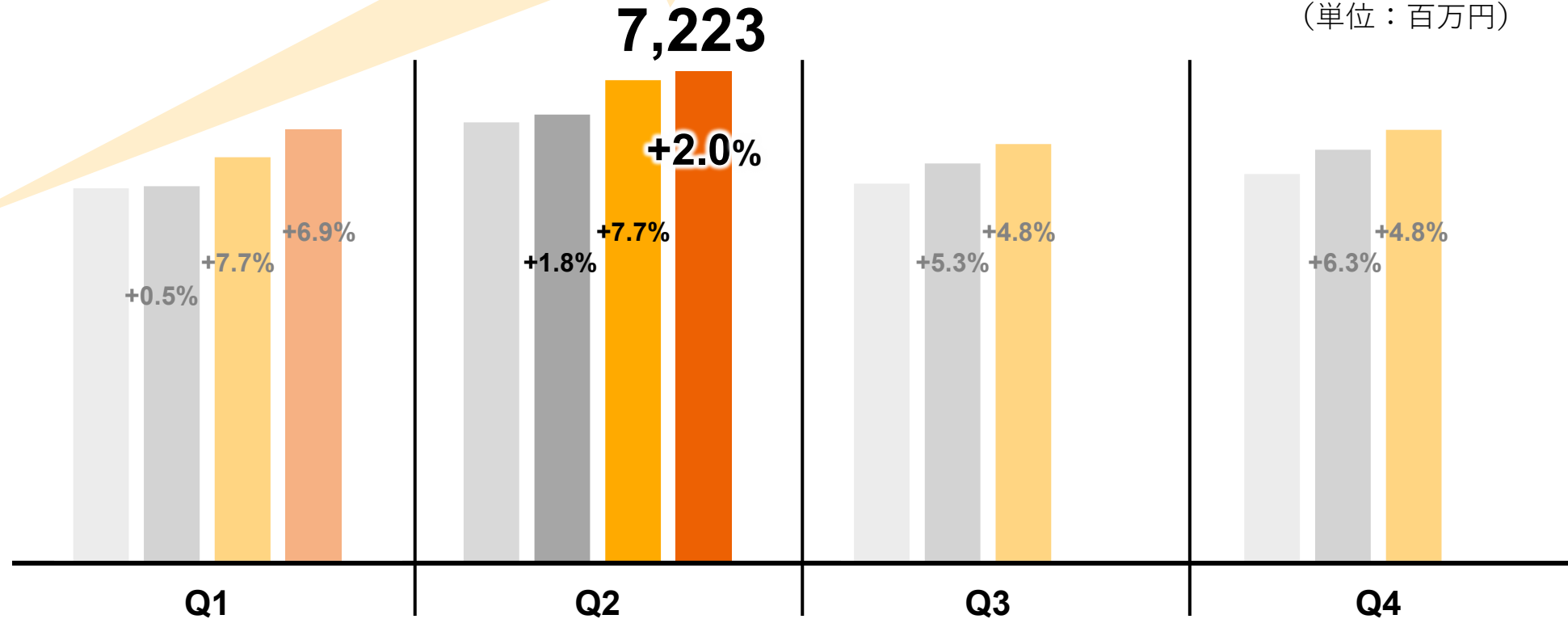


「LIFULL HOME'S」の進捗状況

2024年9月期第1四半期から10四半期連続で連結売上収益が順調に拡大



(単位：百万円)



2026年9月期 通期業績予想

中期経営計画の目標達成に向けて2026年9月期は成長投資を強化

売上収益 **297** 億円
(前期比 +5.6%)

営業利益 **30** 億円
(前期比 ▲21.4%)



投資強化の3つのポイント

人材の採用の強化

営業・開発の人材強化

最適な広告宣伝

集客・認知度向上

AI・生成AI

サービス・社内での活用促進

コントロールライン：営業利益率 **10% 超**

2026年9月期 連結業績予想の進捗

通期計画に向けて**順調な進捗**

簡易損益計算書

	2026年9月期 (10-9月) 【通期予想】	2026年9月期 Q2 (10-3月) 【実績】	進捗率
(単位：百万円)			
売上収益	29,700	14,901	50.2%
売上原価	2,016	824	40.9%
販管費	24,737	11,737	47.4%
人件費関連	9,879	4,604	46.6%
広告宣伝費・営業費	9,498	4,875	51.3%
その他	5,360	2,257	42.1%
その他収益及び費用	53	5	9.4%
営業利益	3,000	2,344	78.1%
営業利益率	10.1%	15.7%	-
当期利益 [※]	1,900	1,544	81.3%

※ 当期利益：親会社の所有者に帰属する当期利益

サービス別売上収益

	2026年9月期 (10-9月) 【通期予想】	2026年9月期 Q2 (10-3月) 【実績】	進捗率
(単位：百万円)			
売上収益	29,700	14,901	50.2%
HOME'S関連事業	26,450	13,584	51.4%
その他	3,250	1,316	40.5%

その他、決算内容の詳細は
当社コーポレートサイト
(<https://lifull.com/ir/ir-data/fy2026/>)
をご覧ください。

1. LIFULLについて

2. 中期経営計画（2026~2028）で目指すこと

（住領域×AIのリーディングカンパニーに向けて強固な土台づくり）

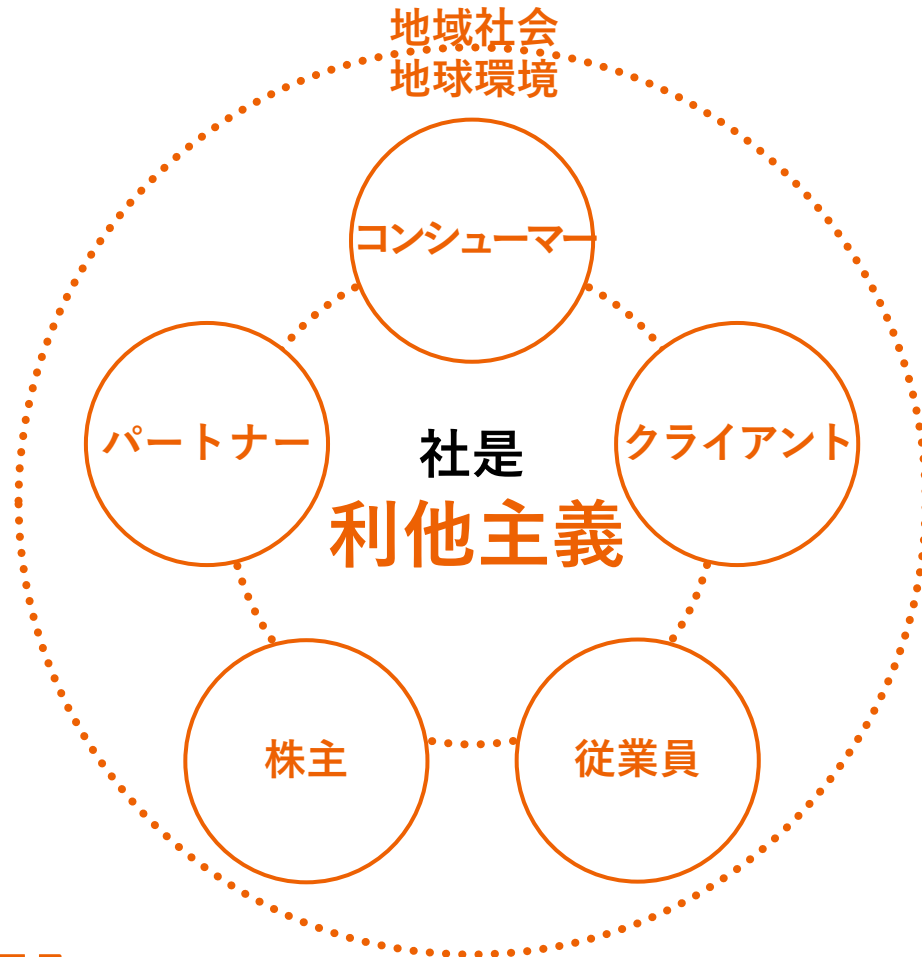
3. 2026年9月期第2四半期 決算ダイジェスト

4. 株主還元の強化（株主優待制度を新設）



LIFULLグループの経営の考え方

公益志本主義 社是を基本に全てのステークホルダーに配慮した経営



コンシューマー

LIFULL HOME'S等暮らしを豊かにするサービス

クライアント

事業者の業務を効率化するサービス

従業員

世界最高のチームづくり

パートナー

不動産情報コンソーシアムや産学連携でオープンイノベーションを創出

株主

資本コストを意識した経営

社会

地方創生等の社会課題解決を目指したサービス 社会貢献活動 One P's

地球環境

環境を重視したスタートアップ事業への出資 TCFDへの対応

株主優待制度の新設を発表

当社株式への投資魅力の向上と、長期ファンの獲得を目指して、2026年2月に新設を発表



目的

- ・当社株式の認知度・投資魅力の向上
- ・自社サービス利用特典により事業内容の理解を深め、長期ファンを創出

優待対象

40単元（4,000株）を1年以上継続保有
ただし、初回の2026年9月末は半年以上継続保有

基準日

2026年9月末日を初回とする
以降、毎年3月末・9月末の年2回

優待内容

1 電子マネーまたはデジタルギフト
15,000円分×年2回（年間30,000円）

2 自社サービス利用特典
（詳細は次ページ）

詳細は、2026年3月17日公表の「[株主優待制度の詳細決定に関するお知らせ](#)」をご覧ください

株主優待：自社サービス利用特典

サービス利用特典を電子マネーと合わせて提供（有効期間 1年、株主様ご本人を対象）

LIFULL HOME'S

(<https://www.homes.co.jp/>)



LIFULL HOME'Sを利用して問
合せを行った事業者で成約

賃貸：15,000円分のデジタルギフト
(掲載価格15万円以上の物件)

購入：50,000円分のデジタルギフト
(掲載価格5千万円以上のマンション・一戸建て・土地)
※賃貸と購入は、有効期間内に各1回のみ利用可能

LIFULL STAY

(<https://stay-owner.lifull.jp/>)



LIFULL STAY

(<https://stay-owner.lifull.jp/>)

の掲載物件を購入

販売価格から50万円割引

Instant House

(<https://instantproducts.lifull.net/house/>)



インスタントハウス
：販売価格から20%割引



インスタントサウナ
：販売価格から20%割引

株主還元の拡充

■ 配当予想 (2026年9月期)

5.21円^{※1}

配当性向 **30%**
(非経常的な要因を考慮)



■ 株主優待

年間合計 **30,000円**

+ サービス利用特典

(参考) 利回り^{※2}

配当利回り

2.7%

優待利回り

3.9%

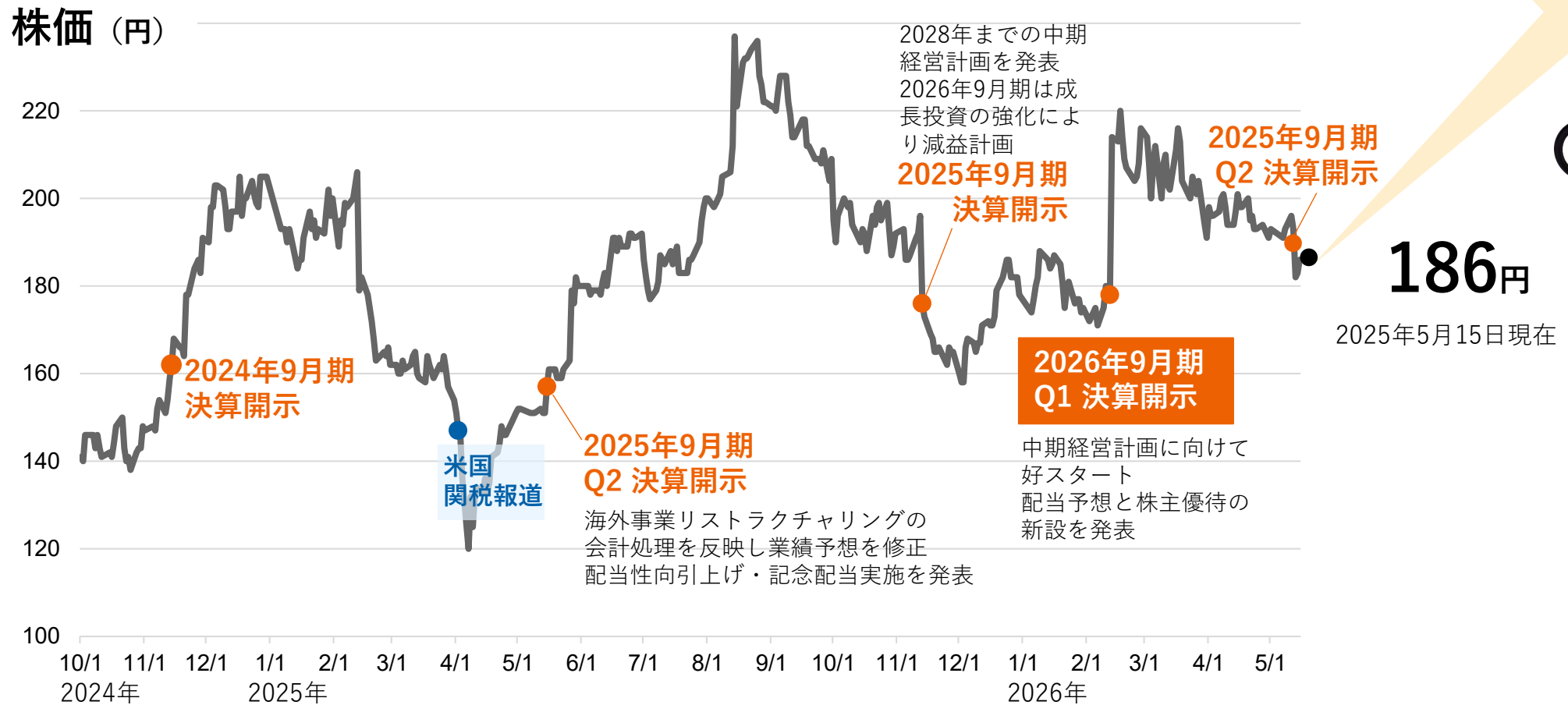
総利回り

= **6.7%**

今後も事業成長により株主還元の拡充を継続的に検討

株価の推移

第1四半期決算発表時、2026年9月期の配当予想と、株主優待制度の新設を公表したことで株価は上昇。第2四半期も通期計画に対して順調に進捗。



Appendix

(参考) 2026年9月期第2四半期決算説明資料のAIによるまとめ

2026年9月期 第2四半期 決算サマリー：LIFULLの堅調な成長が継続

～連結業績は増収増益。繁忙期の積極的なプロモーション等、成長投資の進捗も順調。AI活用をさらに推進～

1. 財務ハイライト：増収・増益で通期計画達成に向け順調に推移

主力であるHOME'S関連事業がけん引し、通期計画の達成に向けて着実に進捗しています。

- ・ 売上収益：149.0億円（前年同期比 +4.3%）
- ・ 営業利益：23.4億円（前年同期比 +28.5%） — 収益構造の改善により増収率を大きく上回る増益を達成。

2. 事業の強みと成長ドライバー

- ・ 「LIFULL HOME'S」の成長加速
 - ・ 10四半期連続の成長：継続的なサイト改善と営業強化により顧客数は過去最高水準、ARPA（顧客単価）も向上。
 - ・ 新築分譲マンション、新築一戸建ての掲載物件数、賃貸・売買等のスマホサイト等、売却査定率等、多くの領域でNo.1を多数獲得。
 - ・ 不動産投資領域：「健美家」がLIFULL HOME'Sとの統合・営業強化を経て、掲載物件数No.1（9万件超）へ成長。
- ・ AI活用の深化による付加価値向上
 - ・ ユーザー体験の革進：対話型AI「AIホームズくん」のプロモーションを開始、住まいの窓口の音声接客AIエージェント導入により成約確度の向上を目指す。
 - ・ 生産性の向上：社内AI活用により2025年4月～9月半年間で50,000時間の業務時間を創出、全社員のAI活用を可視化し、育成を強化。

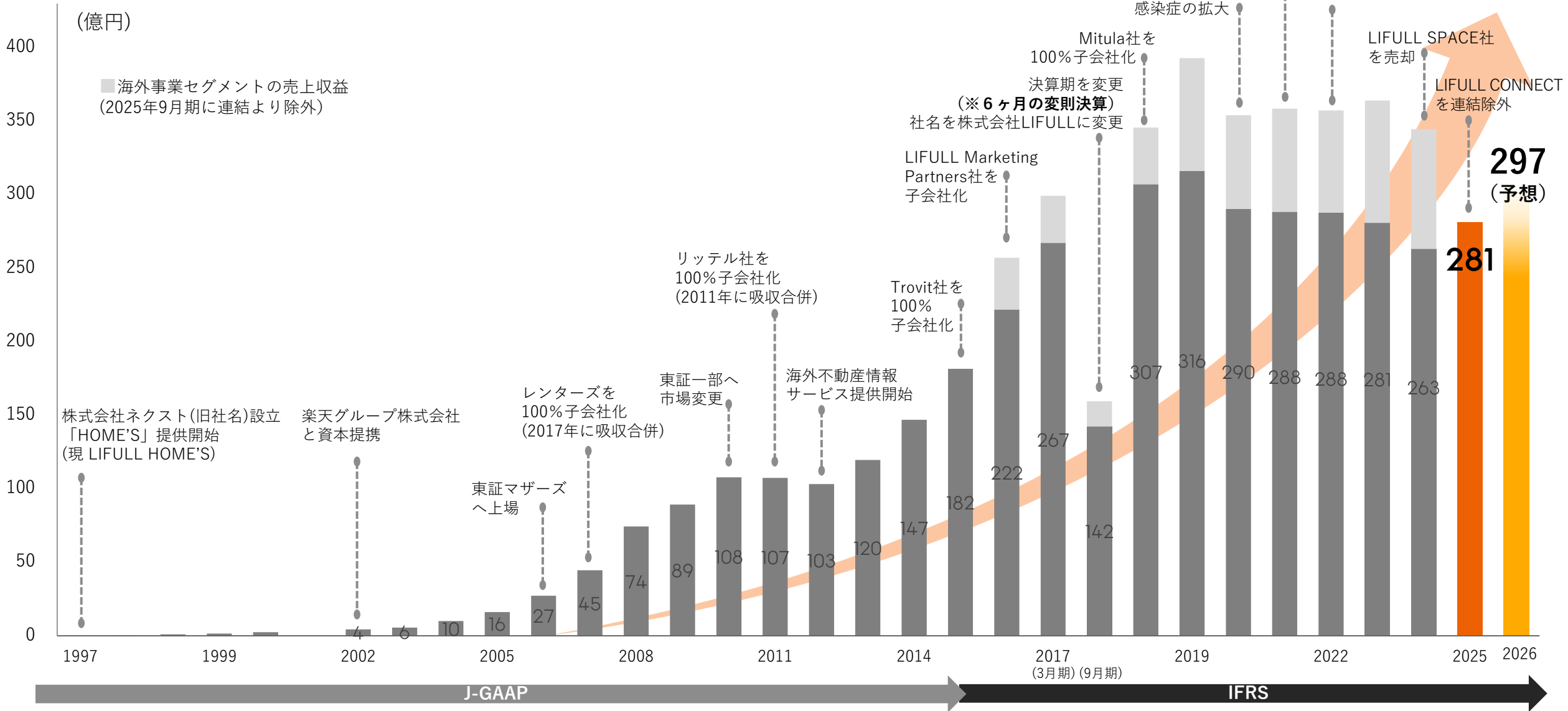
3. 株主還元と中長期ビジョン

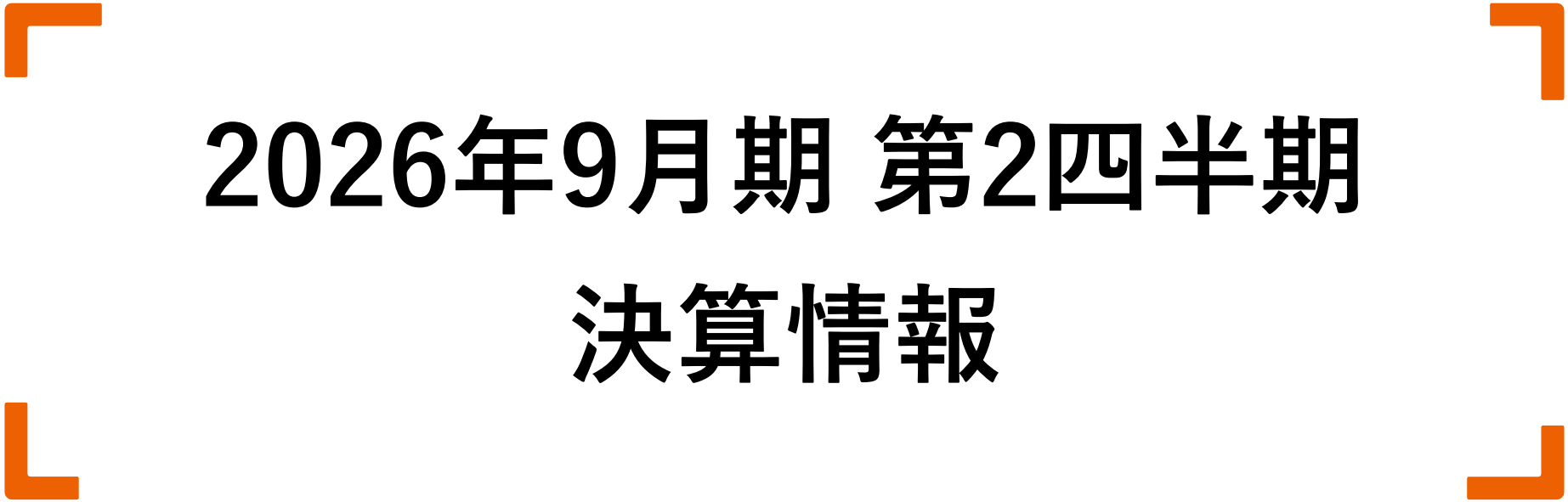
- ・ 株主還元の大幅拡充
 - ・ 配当性向30%をベースとした配当に加え、新設した年間3万円分の株主優待を合わせた想定総利回りは6.7%（2026年4月末時点）。
 - ・ 株式流動性の向上：優待発表後、株主数は21.1%増加、出来高は51.9%上昇し、投資家層が着実に拡大。
- ・ 2028年9月期に向けた定量目標
 - ・ 連結売上収益：350～400億円、連結営業利益：55～60億円、営業利益率：15%超を目指す。
 - ・ 中期経営計画の達成に向け、第2四半期も計画通り順調に進捗しています。

投資家の皆様へ

LIFULLは、国内最大級の住領域データとAI活用により、HOME'S関連を中心に事業の収益拡大と販管費抑制による生産性向上を目指します。今後も「住領域×AIのリーディングカンパニー」の実現に向けて、社会課題の解決と持続的な企業価値向上に努めてまいります。

沿革と売上収益推移





2026年9月期 第2四半期 決算情報

財務諸表の変更点について

前期（2025年9月期）第2四半期より海外事業のリストラクチャリングによる会計処理を反映し、海外事業を非継続事業として分類した後の数値（継続事業ベース）で記載

簡易損益計算書 IFRS

HOME'S関連の好調が継続し、売上収益4.3%増収、営業利益28.5%増益

海外事業リストラクチャリングに伴う一時的要因を除けば、継続事業による当期利益は前期の約2倍（+108.7%）

	2025年9月期 Q2 (10-3月)	2026年9月期 Q2 (10-3月)	増減額	増減率	
(単位：百万円)					
売上収益	14,291	14,901	+ 610	+4.3%	※1
売上原価	712	824	+ 111	+15.7%	
販管費	11,582	11,737	+ 154	+1.3%	
人件費関連	4,689	4,604	▲85	▲1.8%	※2
広告宣伝費・営業費	4,646	4,875	+ 229	+4.9%	
減価償却費	577	687	+ 109	+19.0%	※3
その他	1,668	1,570	▲98	▲5.9%	※4
その他収益及び費用	▲ 171	5	+ 176	-	
営業利益	1,824	2,344	+ 520	+28.5%	※5
営業利益率	12.8%	15.7%	+3.0pt	-	
当期/四半期利益 ※	3,723	1,544	▲2,178	▲58.5%	※6

継続事業によるもの

継続 + 非継続

※ 当期利益：親会社の所有者に帰属する当期利益
 ※ 前期もしくは当期が赤字の場合、増減率は記載していません

※1 主にHOME'S関連の増収による
 ※2 主に通期計画に基づく賞与引当金の減少とグループ内の人員活用の効率化による
 ※3 主に本社退去時のコスト見直しによる増加
 ※4 採用費が増加した一方、本社退去時のコストの見直しにより減少
 ※5 主にHOME'S関連の増収、一部、本社退去時のコスト見直しによる増加
 ※6 前期は海外リストラクチャリングの一時的要因含む（約29億円）

セグメント別売上収益・利益 IFRS

HOME'S関連は継続的な施策による集客力向上により増収増益、その他は主に地方創生関連事業により増収

(単位：百万円)	2025年9月期 Q2 (10-3月)	2026年9月期 Q2 (10-3月)	増減額	増減率	摘要
売上収益	14,291	14,901	+ 610	+4.3%	
HOME'S関連	13,031	13,584	+ 553	+4.2%	主に前期からの好循環が続き、顧客数や反響数の増加が寄与
その他	1,260	1,316	+ 56	+4.5%	主に地方創生関連事業による増加

(単位：百万円)	2025年9月期 Q2 (10-3月)	2026年9月期 Q2 (10-3月)	増減額	増減率	摘要
セグメント損益	1,995	2,339	+ 343	+17.2%	
HOME'S関連	2,175	2,591	+ 415	+19.1%	増収効果と収益力の向上による
その他	▲185	▲ 262	▲77	-	グループシナジー強化のため一部人員の異動によるコストの増加
セグメント間取引	6	11	+ 4	+73.7%	

※ セグメント間取引について、相殺消去後の数値を記載しています

※ 「海外事業」を非継続事業に分類したことにより、報告セグメントは2025年実績より「HOME'S関連」の1つに変更

※ 前期もしくは当期が赤字の場合、増減率は記載していません

財政状態計算書の状況 IFRS

前期の株主還元強化に伴う配当支払や、
将来支払を予定していた本社退去時の費用を今期に支払ったことにより、現預金が減少

(単位：百万円)	2025年9月末	2026年3月末	増減額	増減率	摘要	
資産合計	40,915	42,100	+1,184	+2.9%		
流動資産	18,522	17,572	▲949	▲5.1%	現預金 ▲1,920 売掛金及びその他の短期債権 +277 その他の短期金融資産 +500 その他流動資産 +143	キャッシュ・フローの状況（P11）を参照
非流動資産	22,392	24,527	+2,134	+9.5%	有形固定資産 +1,967 使用権資産 ▲285 持分法で会計処理されている投資 +165 その他の長期金融資産 +1,462 繰延税金資産 ▲1,173	主に地域創生2号ファンドの出資案件による ※1 主に投資有価証券の評価替えによる増加 ※2
負債合計	14,691	14,465	▲226	▲1.5%		
流動負債	5,732	5,310	▲422	▲7.4%	買掛金及びその他の短期債務 +182 リース負債 ▲140 その他の流動負債 ▲522	主に賞与引当金の減少による
非流動負債	8,958	9,154	+196	+2.2%	借入金（固定） +1,526 リース負債（固定） ▲151 引当金 ▲1,059	主に地域創生2号ファンドの出資案件による ※1
資本合計	26,223	27,635	+1,411	+5.4%	利益剰余金 +211 その他の資本の構成要素 +998	配当金の支払による減少含む
1株当たり						
所有者帰属持分(円)	203.08	212.81	+9.72			

※1 地域創生2号ファンドについては2026年9月期第2四半期決算説明資料のP33のQ1、P42をご参照ください

※2 CONNECT NEXTの投資有価証券：6,884百万円

キャッシュ・フローの状況 IFRS

事業が好調に推移、営業CFは主にHOME'S関連の収益力向上により増加

投資CFは地域創生2号ファンドによる有形固定資産の取得があるものの前期比で減少

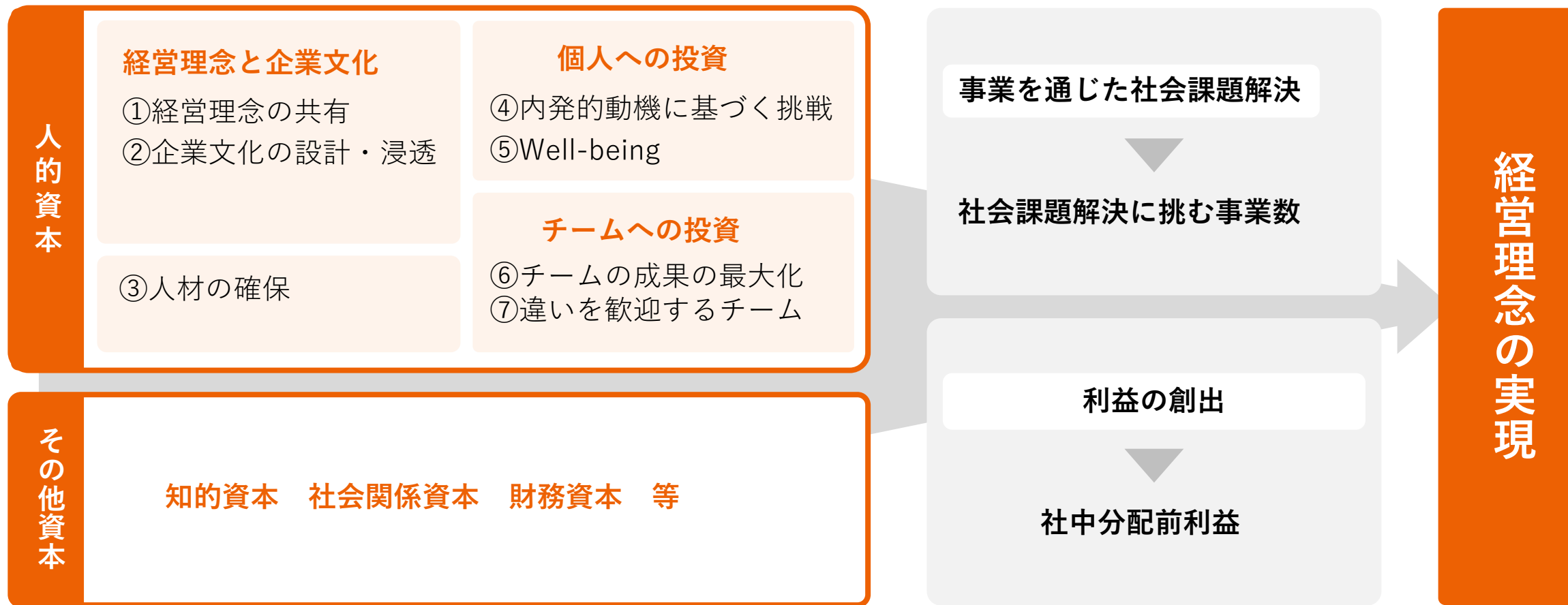
財務CFは配当支払額の増加等により減少

(単位：百万円)	2025年9月期	2026年9月期	増減額	主な要因		
	Q2 (10-3月)	Q2 (10-3月)		項目名	25/9月期 (Q2)	26/9月期 (Q2)
営業CF	1,369	1,852	+ 483	税引前四半期利益	+1,801	+2,441
				非継続事業からの税引前利益	+619	▲7
				減損損失	+200	-
				売掛金及びその他の短期債権の増減額 (▲は増加)	▲483	▲271
				買掛金及びその他の短期債務の増減額 (▲は減少)	▲278	+56
				賞与引当金の増減額(△は減少)	+224	▲569
				支配喪失損益	▲1,224	-
				債権放棄損	+349	-
				その他(営業)	▲263	▲511
				法人所得税の支払額又は還付額 (▲は支払)	▲395	+116
投資CF	▲9,370	▲3,790	+ 5,580	有形固定資産及び投資不動産の取得による支出	▲6,488	▲2,186
				子会社の支配喪失による減少額	▲2,722	-
				関連会社株式の取得による支出	-	▲216
				貸付金の回収による収入	+1,455	+1,172
				資産除去債務の履行による支出	-	▲900
財務CF	2,724	▲11	▲2,735	長期借入による収入	+6,216	+1,704
				借入金の返済による支出	▲3,366	▲364
				配当金の支払額	▲93	▲1,332
現金及び現金同等物の増減	▲5,243	▲1,874	-			
現金及び現金同等物残高	8,532	8,782	+ 250			

LIFULLグループの サステナビリティの考え方

LIFULLの成長を支える 人的資本の考え方

人的資本 = 経営理念の実現のための重要要素の1つ



内発的動機に基づく挑戦 社内プログラムの事例

LIFULL大学



社員一人ひとりのやりたいことの実現、必要な能力開発を目的とした社内大学

講座の事例

- ・クリティカルシンキング
- ・〇〇業界学ぶゼミ
- ・デザイン思考ワークショップ 等

キャリア選択制度・キャリアフル



キャリア選択制度

自分のキャリアビジョンの実現に向け、半期ごとに異動や職種変更の希望を提出することが可能

キャリアフル

他の部署・職種の仕事を手伝える社内副業制度

One P's



社会貢献活動支援制度

社員が特別有給休暇を活用し、社会貢献活動に参加することを支援するプログラム

社員の年間総労働時間の1%、LIFULL単体の前年度税引き後利益の1%を原資社員のボランティア活動参加を支援するため、年間2日の特別有給休暇を付与

LIFULLグループのサステナビリティ

LIFULLグループの取組みは以下をご覧ください



サステナビリティサイト

<https://lifull.com/sustainability/>



有価証券報告書

<https://lifull.com/ir/ir-data/>

下記のテーマに関する情報が確認できます：

サステナビリティ課題
(マテリアリティ)

サステナビリティ関連の取組
(環境、人材、ガバナンス 等)

ESGデータ

等

TOPICS



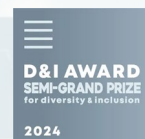
FTSE JPX Blossom
Japan Sector
Relative Index

**2023年から2025年まで
3年連続選定**

FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Indexは、ESGの取組みが優れた日本企業を集めた株価指数。環境や社会に配慮した企業を応援しながら投資ができるため、個人投資家がESG投資を行う際の参考の一つになります。年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）も採用しており、長期的な視点での投資に適した指数と言えます。

※「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」について
<https://www.ftserussell.com/products/indices/blossom-japan>

D&I AWARD

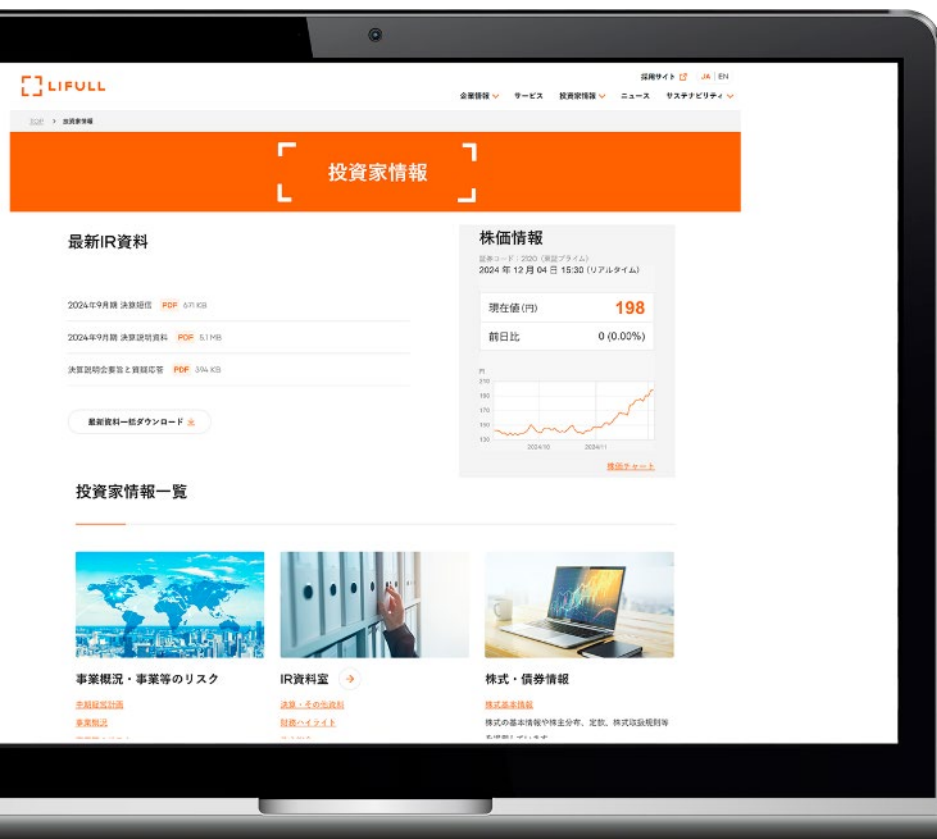


D&I AWARD賞
2023年、2024年

トップインクルーシブカンパニー賞
2024年、2025年

ベストワークプレイス認定
2023年、2024年、2025年

IR情報に関するお問合せ窓口



IRサイト 日本語

<https://lifull.com/ir/>

English

<https://lifull.com/en/ir/>



E-mail

ir@LIFULL.com

TEL 03-6774-1603 (平日10:00~18:00)

LIFULLサステナビリティ情報

公式Youtubeチャンネル



<https://lifull.com/sustainability/>

サステナビリティの基本方針や
マテリアリティ等を掲載



<https://www.youtube.com/@LIFULL>

決算説明会動画(日本語・
英語吹替)等を掲載